

Yusuhara a Home from Home (第9部)

クリスマスのお話 (Christmas Time)

橋原学園 ALT : スティーヴン・ウダード

12月になりました。1年の終わりを意味するだけでなく、この時期には2つの大きな行事が待っています……そう、クリスマスとお正月です。ご存じのとおり、クリスマスは12月25日に世界中で祝われる、とても大切な1日です。もともとの始まりはキリスト教と、イエスの誕生に由来するものでしたが、現代の人たちには、家族や親しい人たちが集まってお祝いをする特別な日として意識されています。イギリスを含む西欧の国々では、本当にいろいろなやり方で、この日をお祝いします……クリスマスカードを送る。イエスの生誕劇を鑑賞する。サンタクロースにいろいろな願いごとをする。クリスマスキャロル(クリスマスを祝う歌)を歌う。贈り物をあげたり、もらったりする。クリスマスにちなんだ、伝統的な食べ物を食べる、など。

伝統的には、クリスマスはAdvent(アドヴェント、待降節・降臨節)をもって始まることになっています。名前の通り、クリスマス当日を迎えるまでの約1か月間を指します。クリスマスを迎えるいろいろな準備は、この期間中に始まります。家を飾ったり、クリスマスツリーやイルミネーションを飾りつけたり、贈り物を用意したり、仕事のお休みをとったり。つまり、クリスマスまでのカウントダウン、ということですね。

普及しているものからそれほどでないものまで、待降節

には本当にさまざまな伝統があります(その家庭だけの特別な習慣さえあったりします)が、共通しているのは「家族とともに」という点です。本当に残念なことです。それがかなわない人たちが毎年存在するのは確かです。でも今年のクリスマスは、特別に大変だった1年の終わりを告げるものだと思います。この行事に関わることができない、例年よりもはるかに多くの人たちが存在するのですから。本当にたくさんの人たちが、この時期に何らかの慰めを見出したい、そしてお祝いの輪の中に入りたいと考えていると思います。みなさんもできることなら、他の誰かに寄り添ってあげてください。それが何か、大きな違いを生み出すことになるかもしれないのですから。メリークリスマス。そして、どうかよいお年を!

(日本語訳: 町 ALT 森竹弘喜)



ロンドンを代表する大通り、リージェント・ストリートの、今年のクリスマスイルミネーションの様子です。来年はもっと安心できる環境で、みんながクリスマスを祝うことができますように!